

水道管を凍結・破裂から守りましょう

冬期間中、気温が氷点下まで下がると水道管が凍結、破裂する恐れがあります。

凍結、破裂すると高い修理費がかかってしまう場合があります。また、指定給水装置工事業者に修理を依頼されても、修理までに時間がかかる場合があります。天気予報等を確認し、凍結の恐れがある場合は対策をお願いします。

こんなときは注意しましょう

- 外気温が -4°C 以下になったとき
- 旅行で家を留守にするなど長期間水道を使用しないとき（留守の家、空き家などで漏水が起こると、漏水の発見が遅れ、水道使用料が高額になる恐れがあります。止水栓で水を止めておきましょう。）

◆凍結・破裂を防ぎましょう

特に凍結しやすい場所

- 風当たりの強いところにある水道管や蛇口
- 日かげにある水道管や蛇口
- むき出しになっている水道管
- 家の外にある蛇口

露出している水道管や蛇口を保温

水道管や蛇口に保温材や布切れ、毛布などを巻きつけて、保温材等が濡れないよう、ビニール袋やテープで覆って保温しましょう。

凍結してしまったら

凍った部分にタオル等をかぶせ、ぬるま湯をゆっくりかけて溶かしてください。

※熱湯を急にかけて、水道管や蛇口が破裂することがあります。



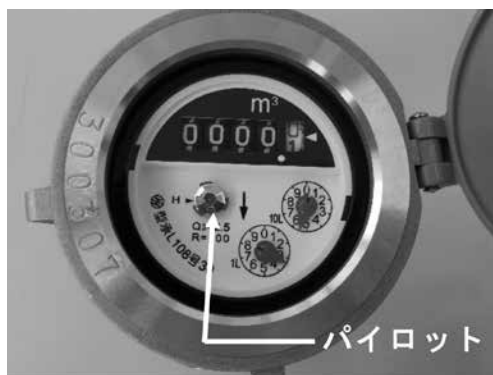
破裂してしまったり、水道料金が増えたら

水道管が破裂した時は、止水栓を閉めて漏水を防いでください。

また、漏水の疑いがある場合は、家庭内の水道蛇口を全部閉めて、トイレや給湯設備等を使用していない状況で、水道メーターをみてください。この時、メーターのパイロットが回転していれば漏水の可能性がります。

漏水を確認した時は、大山町指定の給水装置工事業者に修理を依頼してください。

大山町指定の給水装置工事業者で修理された場合は、水道使用料の一部を減免する制度がありますので、詳しくは水道課へお問い合わせください。（なお、修理費については自己負担になります。）



雪が積もると、止水栓の場所がわかりにくくなりますので、メーターボックスの周りの除雪を行い、普段から止水栓の場所を確認して、漏水に備えましょう。

◆問い合わせ先 水道課 ☎ 0859-54-5204